



太陽っ子

かしこく
やさしく
たくましく

第11号

令和4年12月20日

大野小学校

文責 上原

ちゅうぐつちゅうねんやぶ

十二月も半ばを過ぎ、今年も残すところあとわずかとなりました。学校は、十二月二十四日（土）から一月九日（月）まで冬休みとなります。

冬休み中には、クリスマスやお正月もあり、プレゼントやお年玉を楽しみにしている子どもも多いでしょう。新型コロナウイルス感染症が依然として広がっています。イベント等も感染対策を取りながら、開催されることも増えてきています。年末・年始は、人出も道路を行き交う車の量も多くなります。感染防止には細心の注意を払いながら、健康や安全に注意して、楽しく、充実した冬休みを過ごして下さい。



また、つい遅くまでテレビを見たり、ゲームなどの時間が長くなったりしがちです。生活のリズムを崩さないよう、規則正しい生活を心がけてください。併せて、各ご家庭では、新年を迎えるためのいろいろな準備をされると思います。大掃除やお正月の飾り付け、料理の準備など、家族の一員として、進んでお手伝いをして欲しいと思います。

その中で、年末・年始の行事の意味やおせち料理に込められた願いなど考えてみたり、一年の締めくくりにこの時期に家族でお子さんの成長を喜びながら、今年一年を振り返ってみてはいかがでしょうか。

そして、「一年の計は元日にあり」といいます。来たる新年は、気持ちも新たに、目標を持ってスタートしましょう。



ご参観ありがとうございました

ございました

十二月九日（金）に、授業参観および教育講演会、学級懇談会を実施しました。多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。お子さんの学習の様子はいかがでしたか。

今回は、全学年人権学習に取り組み、偏見や差別の不合理さ、人権の大切さ等について学びを深めました。ご家庭でも話題にしてみてください。



教育講演会では、「脳と心を育む生活リズム」という演題で、上土井貴子先生（じょうどいくりニック）の講演DVDを視聴していただきました。セロトニンをキーワードに分かりやすく、大変参考になる内容でした。学級懇談会では、後期前半の学習や学校生活の様子、冬休みのくらし等について、懇談の時間を持たせていただきました。

人権学習

本校では、六月と十二月の年間二回、人権週間（旬間）を位置づけ、授業や集会などを通して、人権について学び、考える機会をもっています。

「人権集会」では、学習を通して考えたことなどを各学級の代表児童が発表し、感想を返しの言葉として伝え合います。決めつけや人によって態度を変えること、いじめや差別、偏見のおかしさなどについて、自分と重ねながらしっかり考える機会にしています。

また、各学級で取り組んだ「ハートツリー」には、一人一人のいいところが輝いています。



これらの取組を通して、いじめや差別を許さない態度や相手を思いやる気持ち、自分そして友だちを大切にすることを育んでいけるよう指導しています。併せて、子どもたちの悩みや不安に気づくことができるようアンケートや教育相談なども実施しています。お子さんのこと、気になることなどありましたら、学校にご相談ください。

音楽っていいなあ

十二月八日（木）に、音楽ユニット「リヴィエール」のみなさんをお招きし、演奏会を行いました。これは、市内の小学校等を対象に音楽家を派遣する「玉名市音楽アウトリーチ事業」によるものです。

オープニングは、子どもたちもよく知る「シンクローティック」。西口先生、尾ノ上先生がトライアングル奏



者としてメンバーに加わり、素晴らしい演奏でした。楽器紹介では、ピアノ、フルート、チェロ、コントラバスそれぞれの音色を味わいました。途中、コン



トラバスの体験演奏もあり、学年の子と一緒に私も体験させてもらいました。子どもたちの方が数段上手でした。

最後は、大野小の校歌を演奏していただき、全員で歌いました。本物の音に触れる貴重な機会でした。

自分に挑戦

十二月十六日（金）に「校内持久走大会」を実施しました。子どもたちは、この日まで体育の時間や業間のランニングタイムを中心に練習を重ねてきました。中には、朝から自主的に練習する姿も見られ、やる気が感じられました。

コースは、学校の運動場をスタート・ゴールとし、正門付近で折り返す周回コースです。低学年は約1km、中学年は約1.6km、高学年は約2.2kmを走りました。



当日は、天候を心配しましたが、子どもたちのやる気で大会の時間帯は晴天となりました。

2時間目は、高学年の部。一番長い距離を走りましたが、その力強い走りに粘り強い走りにたくさん声援が送られました。



3時間目は、低学年の部。初

めて持久走大会に臨む一年生、そして二年生も一生懸命に走る姿が印象的でした。

最後の4時間目は、中学年の部。低学年の頃より距離が伸びましたが、スピードも上がり、



走りがたくましくなりました。中には、残念ながら参加できなかったり、思うような走りができなかったりした子もいたようですが、本番に向けて頑張ってきたことは同じですし、友だちに声援を送る姿が素晴らしいかったです。



持久走大会の取組を通して、脚力や持久力をつけることももちろんですが、挑戦する気持ち、きついこともやり通す力、互いに励まし合う心などが育ち、走りきった後の充実感や満足感を感ずることができたと思いま



す。子どもたちの体と心の成長につなげたいと思います。

もちろん、ご家族や地域の方の声援も、子どもたちの力となりましたし、子どもたちの頑張る姿に「たくさん元気をもらいました。」という声もいただきました。



一人一人の頑張りが輝き、一生懸命な姿がかっこいい持久走大会でした。

健康管理を含め、大会に向けてご協力いただいた保護者の皆様、感染防止に配慮しながら応援いただいたご家族、地域の皆様、そして、大会補助員としてご協力いただいたPTAの皆様、ありがとうございます。

今年も残すところあとわずかとなりました。保護者・地域の皆様には、学校教育活動へのご理解とご協力、そして子どもたちの見守り、大変ありがとうございました。

新年も、笑顔輝く年でありますようお祈り申し上げます。よいお年をお迎えください。